

令和6年度人権教育授業実践研修会
中学校第2学年社会科（歴史的分野）学習指導案

令和6年 月 日（ ）第 校時
 2年 組 人
 ○○市町村立○○中学校
 指導者 教諭 ○○○○○

1 単元名（新しい社会 歴史 東京書籍）
 江戸幕府の成立と対外政策

2 単元の目標

- (1) 江戸幕府の成立と大名統制，身分制と農村の様子，鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に，幕府と藩による支配が確立したことを理解する。（知識及び技能）
- (2) 統一政権の諸政策の目的に着目して，事象を相互に関連付けるなどして，江戸幕府の成立と対外関係について，近世の社会の変化を多面的・多角的に考察し，表現する。
 （思考力・判断力・表現力等）
- (3) 江戸幕府の成立と対外関係について，そこで見られる課題を主体的に追究，解決しようとする態度を身に付ける。（学びに向かう力，人間性等）

3 単元の指導計画（6時間）

- 近世では，どのようにして社会が安定したのでしょうか。（大単元を貫く課題）
- なぜ江戸幕府の支配は約260年も続いたのでしょうか。（小単元を貫く問い）

小単元名	時	学習目標	主な学習活動
1 江戸幕府の成立と支配の仕組み	1	○ 江戸時代の政治制度のあらましまと，幕府による大名や朝廷の統制について，大名配置や武家諸法度などの資料から理解する。	○ 年表を基に江戸時代を概観し，思ったことを話し合う。 ○ 「主な大名の配置」などの資料から大名統制について話し合い，発表する。
2 さまざまな身分とくらし	1 (2/6)	○ 江戸時代の身分制度と武士，百姓，町人それぞれの職分や生活の様子を理解する。 ○ 百姓や町人とは別に，差別された身分の人々がいたことについて理解する。	○ 本文と資料を基に，武士・百姓・町人の特徴を読み取り，まとめる。 ○ 都市と農村の仕組みと身分がどのように関係しているのかを調べ，発表する。 ○ 被差別身分の生活について調べ，差別が続いた理由を考え，発表する。
	1 (3/6) 本時	○ 幕府や藩が行った被差別身分の人々に対する様々な制限や規制は，被差別身分の人々への差別意識を強める働きをしたことや，被差別身分の人々が，不合理な差別の中で様々な仕事を担いながら社会を支え生き抜いたことを理解し，生き方や身分制度について考えたことを表現する。	○ 被差別身分の人々はどのような仕事を担い，どのような差別を受けていたかについて調べる。 ○ 資料を基に，差別の不合理さについて考え，厳しい差別の中でも様々な仕事を担いながら社会を支え生き抜いた人々の思いについて話し合う。
3 貿易の振興から鎖国へ	1	○ 島原・天草一揆以後に幕府がとった対策と，その影響を理解する。 ○ 江戸幕府の対外政策の変化	○ 本文や資料から，江戸幕府が対外政策を変化させて鎖国を行った理由を話し合い，発表する。

		について年表などから捉え、貿易の振興から鎖国へと方針を変えた理由を考察し、表現する。	○ 鎖国後、キリスト教の禁止がどのように徹底されたのか調べる。
4 鎖国下の対外関係	1	○ 長崎でのオランダ・中国との貿易について理解する。 ○ 朝鮮との交際について理解する。	○ 日本と中国・オランダとの関係はそれぞれどのような共通点、相違点があったのか調べ、まとめる。 ○ 朝鮮との関係を幕府はどのように捉えていたかを考える。
5 琉球王国やアイヌ民族との関係 ■ 探究のステップ (p.145)	1	○ 琉球との関係について理解する。 ○ アイヌの人々との関係を理解する。 ○ 江戸時代が約 260 年続いた理由を理解し、幕府の諸政策の目的と関連付けて考察し、表現する。	○ 琉球王国が中国と貿易を続けた理由や、幕府とアイヌ民族との関係を本文や資料から読み取り、共通点や相違点をまとめる。 ○ 先住民族として言語や宗教などで独自性を有するアイヌ文化について理解する。 ○ これまでの学習を振り返り、幕府の政策と目的についてまとめる。

4 前時 (2 / 6)

(1) 目標

- 江戸時代の身分制度と武士、百姓、町人それぞれの職分や生活の様子を理解する。
- 百姓や町人とは別に、差別された身分の人々がいたことについて理解する。

(知識及び技能)

(2) 実際

学習過程	主な学習活動	時間(分)	◆指導上の留意点・学習資料
導入	1 資料を基に話し合い、学習課題を設定する。 江戸幕府は、どのように人々を支配したのだろうか。	5	◆ 図やグラフを読み取ることで、江戸の町には町人と武士がいること、人口の大半を占める百姓がいないこと等に気付くことができるようにする。
展開	2 本文や資料を使って百姓や町人に対する幕府の支配について調べる。 (1) 武士・町人・百姓の特徴を読み取り、まとめたことを発表する。 (2) 都市と農村の仕組みと身分がどのような関係しているのかを調べ、発表する。 (3) 町で暮らし、町にも村にも関わる武士の役割について考える。 3 本文と資料を基にえた身分やひにん身分の生活について調べる。 (1) それぞれの生活について調べる。 中世の河原者を振り返り、生活や制限について比較する。 (2) どのような差別があったかを調べる。	32	◆ 「○○の特徴があるのが武士」という形でまとめながら、生徒の気付かなかった事柄については補足をする。 ◆ 都市と農村の構造が似ていることや、町人・百姓らの自治が認められていたことをおさえる。 ◆ 生まれによって身分が決定していたことやそれぞれの身分の中にも上下関係があったことを補足する。また、資料から男尊女卑の社会であったことを確認する。 ◆ 町人・百姓の両方を武士が支配していたことについて、資料や本文を基に気付けるよう助言し、身分が固定された一方で差別された人々がいることや、差別が続いた理由についても考えられるようにする。

			◆ 牛馬の皮で作ったものに、太鼓や鎧や兜などもあることを補足する。必要な役割を担いながらも差別を受けていたことを伝える。
終末	3 チェック、トライの問いに取り組み、本時の学習をまとめる。 幕府は、身分制度によって様々なことを制限したり、村の自治のもとに連帯責任を負わせたりして支配の仕組みをつくった。	8	◆ 次の学習で、社会から必要とされながらも差別をされていた人々の暮らしについて詳しく学習することを知らせる。

5 本時（3／6）

(1) 目標

- 幕府や藩が行った被差別身分の人々に対する様々な制限や規制は、被差別身分の人々への差別意識を強める働きをしたことを理解する。(知識及び技能)
- 被差別身分の人々が、不合理な差別の中で様々な仕事を担い社会を支えていたことを理解し、差別の中を生き抜いた生き方や、身分制度について考えたことを表現する。
(思考力・判断力・表現力等)

(2) 実際

学習過程	主な学習活動	時間(分)	◆指導上の留意点・学習資料
導入	1 本時の学習課題を設定する。 身分制度が確立する中で、被差別身分の人々はどのように生きていたのだろうか。	5	◆ p.117「差別された人々」を読み、前事を振り返る。 ◆ 誰から支配を受け、誰から差別されていたのかを確認する。 支配：武士 差別：全ての身分の人々
展開	2 厳しく差別されてきた身分の人々がどのような仕事をし、どのような差別を受けていたかについて調べる。 (1) 仕事について調べる。 <視点1> ・ 死牛馬の解体、皮革業、雪駄生産 ・ 治安、役人の下働き ・ 芸能、雑業、井戸掘り など (2) 資料を基にどのような差別を受けていたかについて調べる。 <視点2> ・ 百姓や町人からの差別(村の運営や祭礼への参加の禁止) ・ 幕府や藩による様々な規制(住む場所や職業の制限、服装などの規制)	27 15	【視点1】 人々の生活を支え、文化の創造・継承に努めてきたことに気付く。 ◆ 被差別身分の人々の様々な仕事を調べることで、人々の生活に必要な仕事を担っていることに気付けるようになる。 ◆ 室町時代にケガレを清める役割を担っていた河原者の存在と、ケガレを恐れ排除・差別の対象とした人々の心情がつながっていることを確認する。 ・ 学習資料①(被差別身分の人々が行っていた仕事) 【視点2】 厳しく差別されてきた身分の人々への差別の不合理さについて考える。 ◆ 他の人々の生活を支えたにも関わらず、差別が制度化され、差別意識が強められていったことに気付けるような問いかけをする。 ・ 学習資料②(被差別身分の人々を取

	<p>3 これまでの学習を基に、差別の不合理さと、その中で生き抜いた人々の思いについて話し合う。 <視点3></p> <p>(1) 資料を基に、差別の不合理さについて話し合う。</p> <p>(2) 資料を基に、不合理な差別の中で生き抜いた人々の生き方や思いについてグループで話し合いまとめ、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 差別への怒り ・ 差別に負けない心 ・ 生き抜く力 ・ 技術を高める <p>(3) 差別が260年続いたことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人々はなぜ差別したのだろうか。 ・ 江戸時代のシステムをどのようにすればよかったか。 	<p>り締まる法令)</p> <p>【視点3】 厳しく差別された身分の人々が不合理な差別の中を、どのような思いで生きてきたかを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 差別が当たり前だった時代に、堂々と自分の仕事を行った人々の強さやたくましさに気付けるよう助言する。 ◆ 太鼓作りを担いながらも祭りへの参加を拒まれたことや、武士の命を守る鎧を作りながらも武士から支配・差別されたこと等から差別の理不尽さを捉えられるようにする。人々の生活を豊かにし、命を支える仕事を担っていた事実と差別の事実を比較しながら、人が人を差別することについて考え合うことができるようにする。 ・ 学習資料③「誇りをもって生きる」 ◆ この差別がこの後多くの人々を苦しめ、江戸時代が終わった後も様々な差別に反対する運動が起き、現在も続いていることを補足する。
<p>終末</p>	<p>4 本時の学習についてまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>不合理な差別の中、様々な仕事や役割で社会を支え、たくましく生き抜いた。</p> </div> <p>※ 感想を基に本時の学習の成果を確認する。</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 板書の中で、ポイントとなる言葉を確認しながら、学習をまとめる。 ◆ 被差別身分呼称について、この言葉を教科書に載せることで差別をなくせる子どもたちを育ててほしいという思いを丁寧に伝える。

【授業に当たっての留意点】

- 同和問題（部落問題）の歴史と授業のポイントについて
 令和5年度版人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会 様々な人権課題」p.17～24を参照する。
- 被差別身分呼称（賤称語）の取り扱いについて
 令和6年度版人権教育研修資料「なくそう差別 築こう明るい社会 様々な人権課題」p.9～10を参照する。被差別身分呼称（賤称語）が教科書に掲載されている意味についての理解を深め、授業を展開するに当たっては、差別をなくすためにどうしたらよいかを考え合う授業になるよう留意する必要がある。学級や学年の実態に応じた柔軟な授業展開が求められる。